

## 脳卒中と循環器病克服第一次5ヵ年計画の振り返り補遺

2021年12月に脳卒中と循環器病克服第一次5ヵ年計画の振り返りを報告した時点では、まだ2020年の年齢調整死亡率と2019年の健康寿命が発表されていなかった。そのため2019年までの暫定的な評価を報告したが、この度両者が公表されたため、補遺として目標達成の評価を報告する。

### 5. 目標達成の評価

#### 5-1 年齢調整死亡率

5年間で脳血管疾患の粗死亡率は男女ともやや減少していた。一方、心疾患の粗死亡率は男女ともやや増加していた（補表1）。

粗死亡率は年齢構成の高齢化の影響を受けるため、次に年齢調整死亡率の推移を検討した。従来年齢調整死亡率の算出には、1985年のモデル人口を使用していたが、現実の人口構成と異なって来たため、今回から2015年のモデル人口を使用して

補表1 脳卒中・心疾患の粗死亡率（人口10万対）の推移

| 疾患     | 性別 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 |
|--------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 脳血管疾患  | 男  | 87.8  | 86.6  | 87.7  | 86.7  | 86    | 84    |
|        | 女  | 90.8  | 88.3  | 88.6  | 87.5  | 86.2  | 83    |
| くも膜下出血 | 男  | 7.6   | 7.5   | 7.5   | 7.3   | 7.2   | 6.9   |
|        | 女  | 12.2  | 12.1  | 12.2  | 11.9  | 11.7  | 11.5  |
| 脳内出血   | 男  | 28.7  | 28.8  | 29.5  | 29.8  | 29.8  | 29.6  |
|        | 女  | 22.7  | 22.5  | 23.1  | 23.6  | 23.3  | 22.4  |
| 脳梗塞    | 男  | 49.3  | 48.3  | 48.6  | 47.5  | 46.8  | 45.4  |
|        | 女  | 53.6  | 51.3  | 51    | 49.6  | 49    | 46.8  |
| 心疾患    | 男  | 151   | 153.5 | 158.8 | 162.2 | 163.1 | 165.5 |
|        | 女  | 161.7 | 163.1 | 169.7 | 172.8 | 172.4 | 167.7 |
| 急性心筋梗塞 | 男  | 34.6  | 33.6  | 32.9  | 31.8  | 30.1  | 29.9  |
|        | 女  | 25    | 24.1  | 23.4  | 22.4  | 21.1  | 19.9  |
| 心不全    | 男  | 44.2  | 46.4  | 51.6  | 53.3  | 55.9  | 56.5  |
|        | 女  | 69.8  | 70.6  | 77.4  | 80.1  | 81.7  | 79.2  |

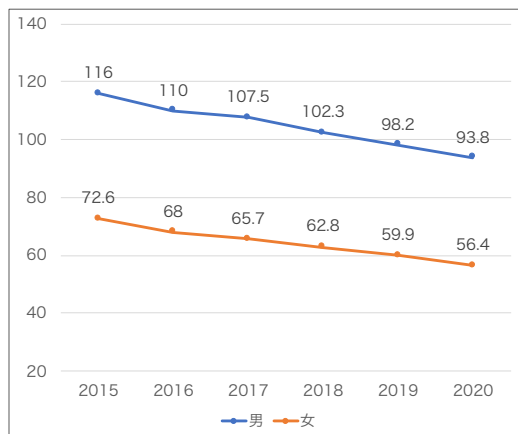
出典：「人口動態統計」（厚生労働省）

#### 補図1 年齢調整死亡率（人口10万対）の推移（2015年－2020年）

脳血管疾患

男：5年間で19.1%減少

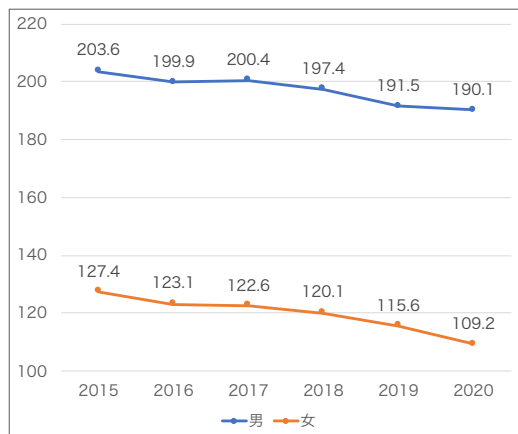
女：5年間で22.3%減少



心疾患（高血圧性を除く）

男：5年間で6.6%減少

女：5年間で14.3%減少



出典：「人口動態統計」（厚生労働省）

算出している。2015年-2020年で脳血管疾患、心疾患の年齢調整死亡率は男女とも経年的に減少していた（補図1）。

2020年の年齢調整死亡率は、2015年と比較して脳血管疾患は男性19.1%、女性22.3%減少し、心疾患は男性6.6%、女性14.3%減少しており目標であった5年間で5%の減少を達成した。脳血管疾患の内訳を見ると、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞とも約10～30%減少していたが、特に脳梗塞の減少が著明であった。一方、心疾患の内訳では、急性心筋梗塞は約30%減少していたものの、心不全は男性で増加しており、第二次5ヵ年計画でなお一層心不全に対する対策が必要であることが示唆された。

補表2 脳卒中・心疾患の年齢調整死亡率（人口10万対）の変化

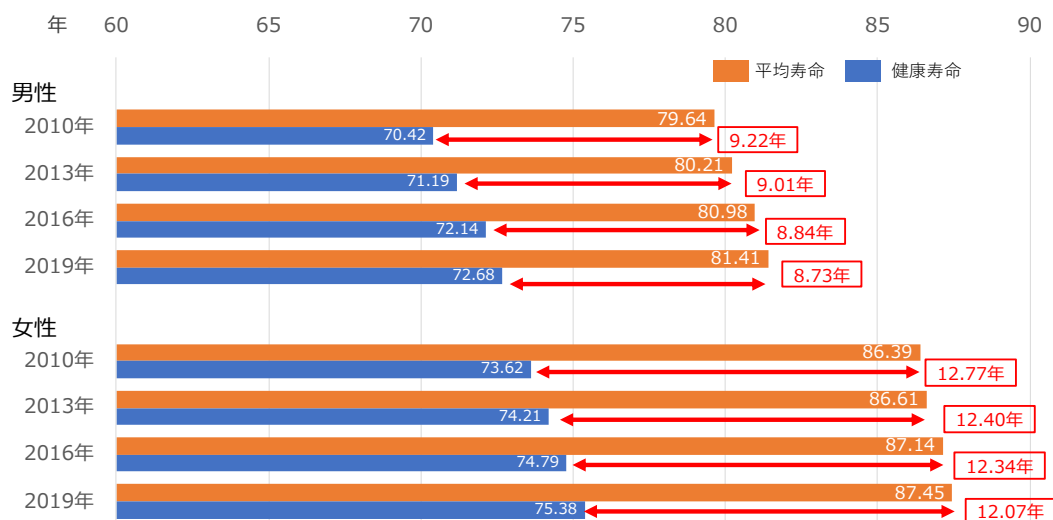
| 疾患     | 性別 | 2015年 | 2020年 | 変化率 (%) |
|--------|----|-------|-------|---------|
| 脳血管疾患  | 男  | 116   | 93.8  | -19.1   |
|        | 女  | 72.6  | 56.4  | -22.3   |
| くも膜下出血 | 男  | 8.4   | 7.1   | -15.5   |
|        | 女  | 10.7  | 9.2   | -14.0   |
| 脳内出血   | 男  | 34.9  | 31.9  | -8.6    |
|        | 女  | 18.9  | 16.3  | -13.8   |
| 脳梗塞    | 男  | 69.8  | 52.5  | -24.8   |
|        | 女  | 41.1  | 29.3  | -28.7   |
| 心疾患    | 男  | 203.6 | 190.1 | -6.6    |
|        | 女  | 127.4 | 109.2 | -14.3   |
| 急性心筋梗塞 | 男  | 43.3  | 32.5  | -24.9   |
|        | 女  | 20.4  | 14    | -31.4   |
| 心不全    | 男  | 66.6  | 69    | 3.6     |
|        | 女  | 53.3  | 48.9  | -8.3    |

出典：「人口動態統計」（厚生労働省）

## 5-2 健康寿命延伸

我が国の健康寿命（日常生活に制限のない期間）は2016年、男性72.14年、女性74.79年と世界でトップレベルであるが、平均寿命は男性80.98年、女性87.14年であり健康寿命との乖離が男性8.84年、女性12.34年あった。2019年の健康寿命は、男性72.68年、女性75.38年とさらに延伸し目標は達成された（補図2）。同じく平均寿命も延伸したが、健康寿命との乖離は男性8.73年、女性12.07年とやや短縮した。

補図2 平均寿命と健康寿命の差



出典：平均寿命は各年の簡易生命表（厚生労働省）

健康寿命は、厚生労働科学研究費補助金：健康日本21（第二次）の総合的評価と次期健康づくり運動に向けた研究（令和3年度）